

## 令和5年度 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月28日

事業名 新潟市立児童発達支援センター

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	27	0	・活動内容に適した部屋を使用しました。	
	2	職員の配置数は適切であるか	25	3		・配置基準を満たしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	0	・構造化についての園内研究を行い、子どもの特性に応じた構造化を実践しました。	・子ども一人ひとりの発達段階を捉えたくらうで、適切な構造化を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25	0	・日ごろから衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	24	2		・PDCAサイクルを取り入れた園内研修を実施し改善の成果が見られました。職員一人一人がPDCAサイクルを更に意識してクラスカンファレンスを実施できるよう更なる定着を図っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	1	・保護者からの問い合わせや質問には必ず返答を行いました。 ・保護者講座やこころんトークルーム等を開催し、保護者同士の交流の場を設けました。	・今後も頂いたご意見で実施できるものについては直ちに取り組んでいきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	26	1		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	0	・外部からの指摘事項はありませんでした。 ・様々なご意見を聴く姿勢で取り組んでいます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	27	0	・センター内での研修を設けるほか、外部の研修や実習にも参加し、資質向上に努めました。	・より実践的な学びの機会を確保するため今後も引き続き外部実習や参加型研修を実施していきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	0	・保護者とよく話し合い、具体的な課題を的確に捉え、目標を適切に設定した個別支援計画を作成するよう努めました。	
適切	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	26	0	・年に1回、遠城寺式発達検査を用いて実施してアセスメントを行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	0	・個別支援計画はアセスメントを基に、具体的に課題を捉え発達段階に応じた目標を掲げ支援内容を設定しました。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27	0		

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	26	0	・学年またはクラス内で長期・短期の計画を設定し、子どもたちの状態に合わせた活動プログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	26	0	・活動プログラムについては季節感や年中行事なども取り入れ、子どもたちの状況に合わせて立案しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	25	2		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	1	・バス添乗等で全員が揃わない場合は、前日に打合せを行ったり、不在の職員にはクラスノート等を活用して必ず伝達するようにしました。	・バス添乗や延長当番のシフトを調整するなどして、打合せをする時間を確保しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	27	0	・できる限り職員全員で行うよう調整しています。振り返りの内容を療育記録に記載し、参加できなかった職員への引継ぎ事項は色ペンで加筆するなどの工夫を行い必ず伝わるようにしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	25	1	・必要な記録は療育記録に記載し、情報共有ができるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	25	0	・計画相談事所と連携を図り、子どもの理解と適切な支援内容についても話し合いを行いました。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	27	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	27	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	26	0	・診断書、指示書を元に保護者と話し合い、連携した支援を行いました。移行支援については、センターでの実際の支援を見学して頂き引継ぎを行いました。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	26	0	・診断書、指示書を元に保護者と話し合い、連携体制を整えました。変更等があった時、早急に保護者、医療機関と連絡を取り適切に対応しています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	26	0	・定期的に連絡を取り、連携を図りながら支援を行いました。	・移行支援について保護者の意向をよく聞き、関係機関とも連携を取りながら、子どもにとってより良い方策を考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	26	0	・見学に来ていただき、実際の姿を見て共通理解を深めました。電話等でも丁寧にお伝えしました。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	26	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	27	0	・近隣の保育園と交流保育を実施することができました。保育園の行事に参加させていただき、有意義な交流ができました。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	27	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	26	0	・センター内での研修を設けるほか、外部の研修や実習にも参加し、資質向上に努めました。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	27	0	・ペアレント・トレーニングや外部講師研修などの保護者講座の開催にあたっては、実施日を複数回設定したり、オンライン講座を取り入れたりするなど、より多くの保護者に参加していただけるよう工夫して開催しました。	・多くの方に必要な情報が十分行き届くよう、保護者講座について内容の周知や開催方法を検討して実施していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	27	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	27	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	26	0	・保護者向けの行事を開催し、保護者同士の交流の場の機会も提供することができました。	・こころんトークルームや行事などの機会を捉え、今後も保護者同士の繋がりを支援していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	28	0	・毎月こころんだよりを発行し情報を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	28	0		
非常時等の対応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	15	11	・地域住民を招待する行事を開催することができませんでした。	・感染症の状況に配慮しつつ、地域とのつながりを大切にして、事業を実施していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	28	0	・引き渡しカードを使用した保護者参加型の避難訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	28	0	・様々な災害に備えて避難訓練を計画し、実施しました。	・毎年見直しを行い、改善に努めていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	28	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	28	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	28	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	28	0	・全職員を対象とした虐待防止研修を実施しました。年間計画に従い、引き続き虐待チェックシートを用いた子どもの人権についての確認や研修など虐待防止に取り組んでいます。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	25	0	・個人懇談時に保護者に対して必ず説明をし個別支援計画に記載しています。身体拘束があった場合には記録し、身体拘束等適正化検討委員会において実施状況の確認や適正性について検討します。		